

質問者



植田 喜晴 議員

Q

## 農業「改革」 生産者価格の安定・下支えを

A

## 現状や課題を的確に捉えていく

問

我が国の農業のあり方を大きく転換させる、農政「改革」で国は、これまでの米、麦、大豆など品目ごとの価格政策、経営安定対策を全て廃止し、対策の対象を4ヘクタール以上の認定農業者や、20ヘクタール以上の一定の要件を満たす集落営農者に限定する、「品目横断的経営安定対策」を実施する。そうすると、農家の大多数が国の政策対象から外され、農家経営が成り立たなくなり、国内生産が縮小し自給率が低下します。

町は、今の農家・集落営農を大事な生産の担い手として、生産者価格の安定・下支えを町独自で確立する必要があるが、町の対応を求めます。

答

佐伯助役

水田農業推進協議会で、水田農業ビジョンの実現に向けて、品目横断的経営安定対策の対象となる米、麦、大豆などの担い手の育成、確保、また米



の生産数量や面積の確保並びに需要拡大など安定的な水田経営の実現を図っていくことにしており、国が打ち出した施策を有効に活用し協力していきたいと考えます。

大きな農政の動きのなかで、地域農政を保全し守っていくため、様々な課題の対策とするハード事業の整備やソフト体制の整備などに取り組み、現状や課題を的確に捉えていきたいと考えます。

問

## 医療制度改悪 町独自の 支援策を

今回成立した医療制度「改革」関連法は、町民が必要な医療が受けられなくなるなど重大な問題があります。その第1は、「自己負担増は受診抑制と健康悪化を招き、結果医療費の膨張となる」第2に、「混合診療の解禁で、

保険のきかない医療を広め、負担の拡大や格差が生じ、公的保険制度の土台が壊される」第3に、「療養病床の大幅削減で患者の行き場がなくなり、このままでは医療難民・介護難民が生まれる」など深刻な問題であり、町民の命や健康を守るには放置できないが、町としての対応を求めます。

答

## 総合健診・栄養 相談などを実施

白石町長

住民の健康を守る施策については、予防あるいは健診に力を入れていく

ことが重要と考えます。今後とも総合健診や栄養相談などを実施し、病気を早期発見し治療に務めると同時に、自己管理の徹底を十分PRしていきたいと思えます。

また、生活習慣病対策の充実強化に向けて、保健師の配置や各種事業に対する国の財政措置を要望していきます。

問

## 支援員配置の 充実を

支援員制度が実施され、障害を持つ子どもや学校生活でのサポートが、親から支援員さんになりました。今では、支援員さんは他の子どもたちにも心強い存在です。学校施設等もノーマライゼーションの考えのもと整備が進められ、松前町の取り組みは、人権の観点からも重要で注目されています。今後は、学校生活支援員の配置は、「保護者負担を軽減させるため」との考え方から「障害を持つ子どもが普通学校、普

通学級で学ぶために必要な要員」との観点で、障害を持つ子どもにも、学校生活に必要な時間が配置されるよう改善・充実を求めます。

答

## 文科省の動向を 探り検討

赤星教育長

現在、幼小中5校に10名配置し、12名の子どもに支援をしています。

町では県の指定を受け、特別支援員教育の推進事業を行っていますが、全体として6%前後の児童生徒が何らかの支援が必要と感じています。このような現状から早急な制度見直しが必要ですが、教員の配置等、国の方向性が固まっていないため、見通しが立たない状況です。文科省の動向を探りつつ検討を進めます。

この他に、教育基本法「改定」について質問しました。